

さいたま市長 1 2 月定例記者会見  
平成 2 3 年 1 2 月 1 4 日（水曜日）  
午後 1 時 3 0 分開会

○ 進 行        それでは、定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。

      進行のほうは、記者クラブ幹事社の埼玉新聞さん、よろしく願いいたします。

○ 埼玉新聞        1 2 月の幹事社を務めます埼玉新聞と申します。よろしく願いします。  
      それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いします。

○ 市 長        今年もあと半月を残すばかりになりました。さいたま市では 1 0 周年の年でありましたが、全国的には大震災と原発事故の年でもございました。  
      日本漢字能力検定協会によれば、そんな平成 2 3 年をあらわす漢字には「絆」が選ばれました。

      思えば、私たちは我が国の歴史上最大の危機的な状況の中で、絆の大切さ、かけがえのなさを痛感をいたしました。私は、市長就任当初から絆づくりを掲げてまいりましたが、その私も絆がこんなにポピュラーな言葉になるとは思いませんでした。既に知らない人がないほどに広く市民権を得た絆ではありますが、これからも一層強く、広く、また厚く育てて、さいたま市を元気づけ、安心して暮らせる、のびのびシティづくりのインフラとしてまいりたいというふうに思っております。

      それでは、議題に移らせていただきます。本日の議題は 2 件でございます。

#### 市長発表

##### 議題 1:岩槻区役所庁舎はワッツ東館に移転します

      初めに、岩槻区役所の移転についてご説明をいたします。本年の 6 月から工事を施工してまいりましたが、岩槻駅東口、ワッツ東館の 3 階及び 4 階の改修工事が 1 1 月末で完了したことから、岩槻区役所の移転を行うものでございます。

      移転に伴う引っ越し作業を平成 2 3 年 1 2 月 2 8 日の業務終了後から平

成 2 4 年 1 月 3 日までに行い、年明け平成 2 4 年 1 月の 4 日から新区役所での業務を開始をいたします。

新しい区役所の機能ですが、新たに教育機関として教育委員会の教育相談室を設置をいたします。また、別の場所にある保健センターを移転、集約化をいたしますが、そのほかは現在の区役所にある機能をそのまま引き継ぐことになります。

なお、移転に伴いまして隣接のワッツ西館 2 階に設置をいたしております岩槻駅市民の窓口は閉鎖をいたします。その他としまして、駐車場はワッツ東館の 5 階及び 6 階のさいたま市営岩槻駅東口公共駐車場をご利用いただけます。来庁者は、原則として 1 時間を無料といたします。また、駐輪場は区役所専用駐輪場を用意をいたします。

新区役所の開庁に当たりまして、1 月の 4 日、午前 8 時からワッツ東館 3 階の区役所玄関前におきまして、市議会議員、商工会議所、自治会連合会などの関係各位約 5 0 名をお招きをし、岩槻区役所開庁式を開催をいたします。

また、開庁式の後、簡単な内覧会を行いますので、取材のほうをよろしくをお願いをしたいというふうに思います。

議題 1 の説明は以上でございます。

## 議題 2 : ラオス人民民主共和国首都ビエンチャン訪問

続きまして、議題の 2、ラオス人民民主共和国ビエンチャン訪問についてご説明をいたします。1 2 月の 2 4 日から 2 8 日までの 5 日間の日程で、ラオス人民民主共和国首都ビエンチャンを訪問してまいります。

ラオス国に対しましては、平成 4 年に旧埼玉県南水道企業団が国際機関の支援事業に参加したのをきっかけに、以来 2 0 年間にわたって水道技術協力を行っております。今回、水道局が 2 0 年間にわたって実施をしてきました技術支援の実績と成果を現地で検証するとともに、さらなる友好関係の構築と官民一体となった水道分野の交流を図ってまいります。メンバーは、私と水道局理事ほか計 6 名で参ります。

主な行事予定であります。日本の O D A により完成をいたしました「カオリオ浄水場」などの水道施設や、また水道事業とは直接の関係はございませんが、平成 6 年からラオス国において教育支援に重点を置き活動して



支援方法を学校と連携をしながら教職員に助言をしたりする、また、小児科医あるいは精神科医の専門医によります教育相談を行わせていただいているものであります。

また、適応指導教室というものを設けて、学校に行く気持ちがありながら、さまざまな理由で登校することができない児童生徒に対しまして、相談と指導の一体化を行うことによりまして、学校復帰を目指した支援・指導を行うということになります。

主な活動としましては、そういった学習支援、心の安定を図る相談、基本的な生活習慣の育成、調理実習、スポーツ活動、野外活動、ボランティア・奉仕活動などを行っていく予定でございます。

### 幹事社質問

#### 新年度予算編成について

#### (仮称)岩槻人形会館の建設延期について

#### 学校給食の放射線測定の実施について

○ 埼玉新聞      それでは、幹事社として代表質問させていただきます。質問は、3点まとめて行いますので、よろしくお願いいたします。

まず1点目が、新年度予算案編成の基本方針、目玉政策、進捗状況、課題などについて、ありましたらお答えください。

2点目が、先日議会答弁で、岩槻人形会館(仮称)の建設着工を2年程度延期する考えを示されました。2年間という延期期間の理由をお答えください。2年後に計画を中止する選択肢もあるのでしょうか。

また、1年半後に予定される次期市長選を経ての着工になるため、選挙で建設の賛否が問われる可能性についてはどうお考えでしょうか。

3点目、学校給食の放射線測定について、中川文科相が6日、40ベクレルは検査機器選考の目安との認識を改めて強調した上で、給食食材についても自治体が参考にする暫定的な安全の目安になるとの見解を示しました。一般の食材より厳しい基準であり、市は現在給食の測定を行っていませんが、今後40ベクレルを目安とした測定を実施するお考えはありますか。

以上、お願いします。

○ 市 長            それでは、幹事社からのご質問に順次お答えをしていきたいと思ひます。

                  まず初めに、新年度予算編成の基本方針、目玉政策、進捗状況についてお答えをいたしたいと思ひます。平成24年度の予算編成につきましては、家屋の評価替えに伴う固定資産税の減収など、歳入の根幹をなす市税収入の減収が見込まれる一方、生活保護など社会保障費の増による収支不足の拡大が見込まれるなど、引き続き厳しい状況が予測をされております。

                  こうした厳しい財政見通しではありますが、平成24年度予算編成におきましては、本市の目指す子どもが輝く“絆”で結ばれたまちの実現に向けまして、「しあわせ倍増プラン2009」の達成はもとより、東日本大震災を契機とした防災対策への積極的な取り組みにより、市民生活の安全、安心基盤をより強化をしまひたいと考えております。

                  また、昨年度策定をいたしました「行財政改革推進プラン2010」に基づきまして、歳入面にあつては本市の歳入の根幹をなす市税の収納率の向上や、市有財産の有効活用、広告事業の一層の拡充など、従来にも増して財源確保に努めていくとともに、歳出面におきましては引き続き徹底した行財政改革を進め、生産性の高い都市経営を目指し、限られた財源を効率的、また効果的に配分することによりまして、さらなる幸せを実感できるまちの実現に向けた予算を編成をしまひたいというふうと考えております。

                  続きまして、新年度予算編成の目玉政策でございますが、平成24年度予算編成におきましては、最終年度となります「しあわせ倍増プラン2009」を達成に導くために、全力で取り組みを推進するとともに、災害対策の見直しなど、東日本大震災や、これに伴い発生をいたしました東京電力福島第一原子力発電所の大事故で明らかになりました課題へ対応するために、防災対策、環境・エネルギー対策のより一層の強化を図っていくことはもとより、高齢者、子育て支援施策の充実等によりまして、市民生活の安全、安心基盤をより一層強化をするため、「防災」、「環境・エネルギー対策」、「高齢者支援」、「子育て支援」を重点分野として設定し、優先的に財源を配分をしまひたいというふうと考えております。

                  具体的には、太陽光発電設備や省エネ節電機器設置を促進する取り組みの強化、土チャレの全校での実施、新たな高齢者支援策などについて取り

組んでまいりたいというふうを考えております。

最後に、新年度予算編成の進捗状況についてお答えをいたします。新年度予算につきましては、現在財政局で要求の内容、金額について精査中でございまして、年明けには市長査定を実施する予定でおります。

なお、各局の予算要求状況につきましては、集計がまとまり次第公表してまいりたいというふうを考えます。

それでは、次にですね、(仮称)岩槻人形会館についてお答えをいたしたいと思います。まず、建設着工に当たり2年間程度という延期間間についてでございますが、ご承知のとおり岩槻地区の4団体から(仮称)岩槻人形会館の建設に関する要望書が提出されたことに伴いまして、要望の考え方や方向性につきまして、それぞれ個別ではありますが、各団体に打診、そして確認をしてまいりました。

今後本格的な協議を進め、具体的な要望内容の把握等を行い、あわせて(仮称)岩槻人形会館開設準備委員会での意見なども踏まえながら、盛り込む事項など機能の検討を行ってまいりたいと考えております。これらにはある程度期間が必要であるというふうに思われますので、来年度に入ってしまうと考えております。その後、建築に係る設計変更あるいは再積算等を行う予定ですが、半年から8カ月程度の期間が必要になってくものと見込んでおります。

一方、要望書にもございますまちづくりの総合的なビジョンに関連づける観点から、現在「(仮称)岩槻まちづくりマスタープラン(素案)」の年度内の策定に向け検討が進められておりますが、今後このプランとの整合性を図ることについても検討していくことを予定しております。

あわせて、観光や集客の観点から、人形会館を支援していただくための組織づくりを進めているところでありますが、今後この組織が中心となりまして、人形文化や人形会館で取り組む事業内容について積極的なPR活動やイベント等を行っていただき、より一層地元での理解を高め、機運の醸成を図ることが必要であるとも考えております。

こうしたことから、これらの内容につきまして検討、調整などを行う期間として約1年半程度を見込み、その後建設工事に係る契約を経て、着工までにはおよそ2年程度の期間が必要になってくものと考えているとこ

るでございます。

次に、2年後に計画を中止するという選択肢もあるのかについてでございますが、今後各団体からの要望内容についての協議、検討状況、岩槻のまちづくりとの整合性などを踏まえまして、現時点ではただいま申し上げたとおり、整備に向けておよそ2年程度の検討、調整の後に、建設に着手できればというふうに考えております。

続きまして、選挙で建設の賛否が問われる可能性についてですが、現時点ではお答えできる状況にはございません。

続きまして、学校給食についてのご質問にお答えをしたいと思います。

文部科学省が示しました40ベクレルという数値をめぐっては、放射能測定機器を購入する際の検出限界値との説明が、給食の安全の目安へと数日間のうちに二転三転し、自治体からの問い合わせが殺到していると聞いております。また、食の安全を主管する厚生労働省との見解の相違も報じられました。政府には、自治体に混乱を来さないよう正確な情報管理を徹底していただきたいというふうに考えております。

本市の給食につきましては、いわゆる自校調理場方式を基本としておりますので、流通段階における放射能検査が有効であると考えております。仮に全市立小中学校で、文部科学省が示す目安値40ベクレルでの測定をするとすると、機材の調達や測定を行う人員の確保、測定に係るマニュアルの作成などを整理していく必要がございます。

また、食品の放射性物質に関する安全基準につきましては、厚生労働省が新たな食品衛生法に基づいた暫定規制値を検討していると伺っております。本市としましては、こうした国の動向を注視しつつ、他市の取り組み事例などを参考にいたしまして、専門家による意見を伺いながら、関係機関と連携を図って、学校給食の安全の確保のために検討を進めていきたいというふうに思います。

以上です。

#### 関連質問

- 埼玉新聞      ありがとうございました。  
代表質問に対する説明に関して質問がある方は質問してください。
- 産経新聞      済みません、産経新聞と申します。

先ほど人形会館の選挙の賛否を問われる可能性のところ、現時点ではお答えできる状況にないということなんですけれども、仮にの話なんですけど、もしも選挙で否定された場合、計画というのは中断できるものなんですか。

○ 市長 現時点でも、仮のお話に入りますんで、正確なお答えができないということもありますので、そういったご理解をいただければと思います。

○ 産経新聞 それは、条例がとか、そういったことですかね。市の今の制度として、例えばそういった計画が選挙で民意を問うて、それでそれが否決された場合、否決といいますか、そういった候補が当選した場合のことが、システムの的には可能なんですか。人形会館にこだわらず、ある施設の建設計画が進んでいるとします。それが選挙によって首長が変わることによって、その方針が変わった場合に、それを中断することは可能なんですかという。

○ 市長 もちろん、どの段階にいつているかにもよりますけれども、課題はたくさんあるとは思いますが、不可能ということではないのではないかと思いますけども。その辺も、どういう状況になっているかということ、どの段階に入っているかということにもよっても違うと思いますので、現時点でそれをお答えするのはどうかなと思っております。

○ 産経新聞 ただ、実際、現実問題として2年後に選挙でその人形会館建設の可否というのが問われる可能性が今の時点にありますよね。それを今の段階で考慮はされているんですか、その可能性というのを。例えば否決されたことを念頭に置いて建設計画なりなんなりをつくっていかれるおつもりなんですか。

○ 市長 当初も申し上げましたように、現在それをお答えする状況にはないということでご理解いただきたい。

○ 産経新聞 それで、その分かんないと言って、2年後、じゃ否決されましたというときに、準備していませんでしたという話になるということですか。

今分からないというのはわかるんですけれども、正確にどうするかというのは、ただ、その可能性も選択肢の一つとして、その計画を進める上では入れるべきなのではないのかなというふうに思ってしまうんですけども。

○ 市長 議会でのご議決なども当然必要になりますのでね、いろんな要素が必要になってくるんじゃないかと思いますけど。ですので、仮定の状況なので、

何ともちょっと申し上げられない。

- 産経新聞 現在では、2年後にそういったことが問われるという可能性はもう排除して建設計画を進めていращやるということでもいいんでしょうか。
- 市長 現時点では一応進めていく前提で準備を進めていると。
- 産経新聞 じゃ、その否決というか、その選挙で問われたら、そのときになって考えましょうというようなことでもいいんでしょうか。
- 市長 いずれにしても、計画を進めていくという前提で準備は進めているということですから、その間いろんなことが起こる可能性はあるかもしれませんが、その部分については、仮定の状況なので、現時点ではお答えできないということですね。
- 産経新聞 ちょっと済みません、長くなって恐縮なんですけど、お伺いしたいのは、その否決されたらどうしますかというようなことではなくて、今現状として、その2年後、このまま進めていって、その2年後の選挙でということなんです。
- 市長 もちろん、最終的に今、今後その予算の編成にそれは多分係ってくる、物理的な流れのプロセスで言うならば、来年度については、計上しないという形になりますから、着工するに当たっては、その建設費を当然計上するというプロセスが出てまいりますね。ですから、それが通っているかどうかとか、契約ができているかどうかとか、いろんな状況によって、いろんな判断ができるのではないかと思いますけど。
- 産経新聞 今は、とりあえず、もうその2年後のことはさておき、とりあえずもう進めますということですね。
- 市長 そういったいろんな地元4団体の声を聞きながら修正なり、あるいは見直しをすべきところはしながら進めていくことを前提に今やっていると、こういうことです。
- 埼玉新聞 済みません、関連なんですけれども、仮定の状況ということなんですけれども、現実問題としてですね、統一地方選挙では地元の市議がですね、その建設の反対、凍結を訴えた市議が2人、上位当選をしたという事実もありますし、2年後、1年半後の市長選でもですね、それが争点になる可能性が出てきていると思うんですけれども、それがいいか悪いかは別にしても。そこまで考えて、あえて市長選後に着工することによって火種を残

したと思うんですけども、それでも市長としてはその政策の継続性に対して、今の議会状況も含めてですね、自信があたりだというふうなお考えなんですかね。あえて選挙後の着工にしても、政策の継続性に影響を与えないというような判断をされたということですか。

- 市長        ですから進めていくことを前提に準備を進めていくということを申し上げているわけで、それ以上でもそれ以下でもないということですね。
- 埼玉新聞        じゃ、特に選挙を経てのという、考えにはなかったということで。
- 市長        当然最終的に着工するには、その選挙後になるということでありますから、いろんな要素が加わってくる可能性はあるかもしれませんが、でも、それはあくまでも仮定の話なので、現時点ではお答えができないと。まだ、だれが候補者になるかということも、私自身も含めて決まっていない状況でありますから、それらの仮定の話については、今お答えするのは適切ではないのではないかということで留保させていただいているということです。
- 埼玉新聞        済みません、先ほどの人形会館のご発言の中に、新しい組織づくりを進めているという話がありましたけども、これはどういったものをイメージした組織になるのでしょうか。
- 市長        これは、もう今年度から取り組んでおりまして、いわゆる人形会館をつくっていくに当たって、その人形文化を振興していくという意味で、いろいろ地域の皆さんに参画をいただいて、その人形文化の大切さであるとか意味だとか、私たちが説明はしているつもりなんですけども、十分に伝わっていないというような部分もありますので、そういったことも含めて、一緒にそういった活動を行っていただいている団体というものを今年度からですよ。
- 事務局        文化施設建設準備室長。今年度からその取り組みは進めておりまして、特に人形会館を中心としまして集客の観点、あるいは観光の観点から、地元の方々に、特に商工団体、あるいはまちづくりの団体、そういった方々のご協力をいただきながら、例えばPR活動を連携して行っていただいたり、あるいはイベント等を今後展開して、少しでも人形会館について理解を深めていただくと、それから集客、観光の観点からもよりいいものにしていくと、そういうようなものからの支援組織づくりということでござい

ます。

- 埼玉新聞      そうすると、新たなものをつくるというわけではなくて、今年度から始めている組織で、それをもう少し活発にしていこうという形でよろしいですか。
- 市 長      そうですね。まだその辺の中身、あるいは意味等も含めてね、十分に周知ができていないというところも感じているところでもありますので、そういった活動の中でご理解を進めていこうと、こういうことですね。

### その他

#### 盆栽の枯死について

- 埼玉新聞      それでは、そのほかに質問がある方は質問してください。  
  
昨日もコメントいただいたんですけども、盆栽の枯死の問題について、もう一度お聞かせください。
- 市 長      まずですね、この度大宮盆栽美術館所蔵の盆栽、五葉松が1点枯死をいたしました。今回枯死に至った原因でありますけれども、美術館からお願いをしております盆栽アドバイザー、樹木医の方々など専門家に見ていただきまして、夏の異常な暑さなどによる生理的と思われる要因で枯死したとの報告を受けてございます。  
  
このような、市の大変貴重な文化資源であります盆栽が枯死をしてしまったことは、大変残念であり、この枯れてしまったということについては、本当に申しわけない、そういった思いを持っております。今後とも専門家の指導を受けながら、さらには大学などの研究機関との連携も図って、育成管理体制の強化に努めていきたいと、このように思っております。
- 埼玉新聞      市長は、貴重な文化的資源とおっしゃいましたけれども、市民の財産として、今回その評価額で250万円という実際の金額が損失されたわけですね。2年前にも、合計で5,700万円の評価額の盆栽を失ったという、その市民の財産が失われたということに関してはどうお考えでしょうか。
- 市 長      今も申し上げたとおりですね、その財産が失われたということについては大変申しわけなく思っておりますし、その結果という部分についてはおわびを申し上げなければいけないと思っています。

#### 浦和レッズ・大宮アルディージャの今シーズンの結果について

○ 東京新聞      ちょっとやわらかい話題で。今年さいたま市は10周年で、サッカーのまちを押し出しているので、多分アルディージャとレッズで優勝争いとか、そういうのが期待されていたと思うんですが、それどころか両方とも残留争いということになってしまい、浦和なんかは、きょう何か監督決まったらいいんですけども、来シーズンに向けてというか、今シーズンどう思っていたかと、サッカーのまちの市長として。

○ 市 長      そうですね、やっぱりサッカーの場合は勝敗というものが球団経営にも影響しますし、あとまちの雰囲気とかですね、活気なんかにも影響するというのをですね、今回改めて痛感をしたところですけども、そういう意味では両チームがちょっとそんな状況でありましたので、ちょうど10周年という記念すべき年であったので、両チームが活躍をしてこの10周年を迎えられればという思いはございましたけれども、特に最終戦ぐらいまでもつれ込んだという意味では、なかなか厳しい状況だったなと思っています。ただ、その厳しい中でもレッズもアルディージャも、しっかり最後はね、踏ん張ってJ1に残留をしていただいたということは、来年に向けてのやっぱり希望がしっかり残ったということであろうと思っていますので、来年はそれぞれね、また今シーズンのいろんな反省を踏まえて、補強であったり、あるいは戦力の強化、見直しであったり、いろんな取り組みをしていただけたと思いますので、来年は期待をしております。

#### 「絆」について

○ 埼玉新聞      済みません、ちょっと1点。最初の質問というか、市長からの報告に戻ってしまうんですが、絆の問題でですね、非常にポピュラーになったとおっしゃられましたけれども、議会ですら、一度「きずなひろば」は使えないという決議が上がったりしましたが、そこで市長と議論になったわけですけども、こうした状況を踏まえて、新たにどうされていくかというお考えありますか。

○ 市 長      1つは、ちょうどこの東日本大震災と10周年というのがたまたま同じ年になったということもございますけども、やっぱり改めて絆という言葉、あるいは言葉の意味というんでしょうかね、それがすごくこれからのさいたま市を考えたときにも、大変重要な言葉だと思っています。

それは、やはりコミュニティの力をもう一回再生をしていく、あるいは

は家族の関係といったものをもう一回再構築をしていく、そうしたことがこれからの少子高齢社会、あるいはさいたま市のまちづくりをしていく上で大きな力になってくれると思いますし、その大切さみたいなものをですね、改めて感じる年にもなりましたので、今後この言葉を名づける、名づけないとかということだけではなくてね、もっとやはりその意味というか、そのための施策であったり、そういったものを充実させていくことが必要だというふうに今思っておりますけども。

- 埼玉新聞 積極的に、その絆という言葉は今後もアピールしていくということによるしいんですか。
- 市長 これまでも使ってまいりましたので、これからも変わらずにそれは使っていくということですね。

#### 給食の放射線測定の実施について

- 日本経済新聞 確認なんですけれども、給食の放射能検査なんですけれども、これは市として独自に検査されるご予定はないということによろしいですか。
- 市長 今、検討しているところが現状だと思います。いわゆる厚生労働省の暫定基準値と、文部科学省のほうの基準が、この40ベクレルかどうなのかというのがちょっとまだはっきりしないところですけども、2つの基準が出てくるということについては、現状の市場での調査だけでは把握ができないというようなことにもつながっていくということも感じていますので、その中で調査の必要性ということについても、現在検討させていただいている段階だということです。

基本的には、子供たちのやはり健康や安全をしっかり守っていくという視点で、それらも含めて検討していきたいと思っています。

#### 被災地のがれき処理の受け入れについて

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。先日瓦れきの処理の問題に関して、上田知事の議会答弁の発言もありました。それ以降ですね、その際も市長からコメントはいただいたんですけども、県から具体的な何か打診があったのか、それから受け入れたいけど難しいという状況に変化はないのか、そのあたりを教えてくださいたいと思います。
- 市長 現時点は。
- 事務局 現時点では、県からの要請はございません。

- 市 長        という状況です、現時点ではですね。もし要請が来た場合には、やはり大きな問題は、前日も記者会見でもお話し申し上げましたけれども、やっぱり最終処分場の問題なんです。これの問題が、やはり解決ができないとですね、非常に難しい状況にあると思っていますので、申し入れがあった際にはですね、そのことなども含めて県と協議をさせていただきたいと、このように思っております。
- 埼玉新聞      ほかにありますか。
- ないようですので、どうもありがとうございました。記者からの質問を終了させていただきます。
- 進 行        それでは、以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。
- なお、次回の開催ですが、年を明けまして1月5日の11時から市長年頭記者会見を予定しておりますので、よろしく申し上げます。本日はどうもありがとうございました。
- 市 長        どうも1年お疲れさまでした。

午後2時10分閉会

この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣いなどを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後訂正された文言等については「会見後訂正」とし、下線を付しています。